



ながれ



冬休み読書の勧め

副校長 岡安 寛

突然ですが質問です。皆さんにお馴染みの「ドラえもん」は、どのように数えるでしょうか。1台、1機、1人、1匹、1体…。この質問の答えは、後ほど。

全国学校図書館協議会の学校読書調査によると、高学年児童の1か月間の平均読書冊数は、平成元年の6.3冊に対し、ここ5年間は10冊ほど、約1.5倍に増えています。これは、本校でも取り組んでいる朝の読書活動の成果とも言われています。世の中では若者の読書離れと言われますが、それは中学・高校生の傾向です。しかし、その間、教員として子供たちを身近に見ていると、読書量が増えているようには感じられません。1冊も読まない児童の割合が横ばいであることに関係しているかもしれません。「子どもの読書活動推進に関する法律」の基本理念には、「子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」とあります。恥ずかしながら、私は小学生の頃、ほとんど本を読んでいませんでした。それでも、中学生になり、赤川次郎やコナン・ドイルの推理小説をきっかけに読書に目覚め、寝る間を惜しんで本を読むようになりました。(小学生ときに読書の面白さに気付いていれば…)と、今でも思います。

本校では、10月から11月にかけて読書週間を設け、子供たちの読書活動を支援してきました。図書委員会が朝の時間に各教室で読み聞かせをしたり、学校図書館支援員が図書館クイズを実施したりしました。放送委員会は、日常的にお昼の放送で読み聞かせをしています。11月の給食では、ブックメニューを提供してきました。教員も、各学期に一度ではありますが、朝の時間に全校を体育館に集め、読み聞かせをしています。服部校長は、全校朝会で、エレナー・エスティス著「百まいのドレス」と狸にまつわる話を2週に渡って紹介しました。「読書の秋」は過ぎましたが、あと3週間ほどで冬休みになります。外で運動することも大切ですが、日没が早く、室内で過ごす時間も長くなるでしょうから、ぜひ読書を愉しんでほしいと思います。また、あまり本を読まない子供たちには、きっかけとなる本と出会ってほしいです。学芸会での演目の原作を読むのもよいかもしれません。日本昔話、詩集、世界の童話、落語など。ちなみに、「マジョリン」は劇団四季のオリジナル作品ですが、「キャッツ」は元になった詩集「キャッツーポッサムおじさんの猫とつき合う法」があります。

以前、中央大学の飯田朝子教授の講演でうかがった話です。外国人が日本語を習得するときの難しさの1つが、助数詞の種類の多さだということです。実に500種類もあるのだそうです。たとえば、「1頭の犬」と「1匹の犬」では、想像する犬の大きさが変わります。電車の数え方で考えると、「1両」と言えば乗り物を、「1本」と言えば運行本数を表し、「1台」と言えば「1台お待ちください」のように使われています。助数詞には、それがどのようなものであるのか、話し手がそれをどのようにとらえているのかを補う役割があるということです。講演後、興味がわいて手に取った本が、同教授著「数え方の辞典」でした。「辞典」とはいうものの、読み物としてもおもしろく、日本語が豊かになった気がしました。

さて、冒頭の質問「ドラえもんの数え方」ですが、ドラえもんを何とらえているかによります。1台ならばロボットとして、1機ならば空を飛ぶ乗り物として、1人ならば人間として、1匹ならば人間より小さな生き物(猫)として、1体ならば人間や生き物の形をしている物として捉えているということになります。この答えについては、本には載っていませんが、ドラえもんの以前の声優をされていた大山のぶ代さんが子供電話相談室で、「人間と同じように、『人』で数えてほしい。」とおっしゃっていたそうです。

では、最後にもう1つ問題です。先に挙げた「百まいのドレス」は、なぜ「百着のドレス」ではないのでしょうか。答えは…本を読んで考えてみてください。

<お知らせ>

本日より、5年1組の図書の学習(週1時間)を、川田^{かわた}栄子^{えいこ}講師が担当します。よろしく願いいたします。

元気いっぱい4年生

4年担任 小澤 珠里

4年生は、行事への意欲や一人一人の学ぶ意欲の高まりが感じられた2学期でした。

10月の理科の研究授業「ものの温度と体積」では空気や水の温度による体積の変化を予想し、自分の予想を確かめるための実験方法を考えたり、実験をしたりすることができました。

11月の学習発表会では、自分たちで動きを考え、楽しんで練習をする姿が見られました。「寿限無 寿限無 ごこうのすりきれ…」長い名前もあつという間に覚え、歌も上手に歌うことができました。学芸会当日も「みんなで笑い係！」の目標を見事に達成し、演じている子供たちも笑顔あふれる学芸会になりました。自信に満ちた子供たちの顔が見られて嬉しく思いました。

総合的な学習の時間では、「神田川ファンクラブ」での体験活動を広げ、「環境」をテーマに学習しています。そして自分たちができることを「エコアクション」として実践する計画を立てています。環境を守るためにごみを減らしていきたい、という思いをもっている4年生の子供たち。この活動を通して、自信をもって主体的に学校生活を送る力や地域に参加していく力をつけていけるのではないかと期待しています。

新しい扉

スクールコーディネーター 新田 怜弥

11月のある日の放課後、近隣の中学校の学習発表会・展示の部を見学に行きました。初対面の生徒さんも、明るく挨拶をしてくれます。校内のあちらこちらにレポートや、作品、グループ発表のポスターがあります。その中には、戸三小の卒業生の懐かしい名前もあります。(あれっ)という表情で「案内しましょうか。」と声をかけてくれた生徒さんがいました。小学生の時から物作りが好きな一面をもっていたK君でした。「立候補して学習発表会の実行委員をしています。」と、爽やかな表情で話してくれました。他の部屋を通りかかると「にったさ〜ん」と笑顔で声をかけてくれる女子生徒さんたち。武道場の卓球部で黙々と素振りをしている後ろ姿はH君かも。そう言えば、小学校1年生の時に、おとめ山公園でザリガニを取り逃がし泣いていたT君はここで生徒会長をして今は高校生。5階の教室の窓からは、小学校から見える景色とはまた違う夕暮れが広がっていました。校庭ではR君、S君がサッカーに汗を流しています。中学生になり、皆新しい扉を開けて歩んでいます。もしかしたら学年を上がるたびに新しい扉があつて…、いやいや、子供たちの毎日の「行ってきます！」は新しい扉を開く魔法の呪文かもしれません。

12月の主な行事予定(予定は変更になることもあります)

1	土	PTA家庭教育学級
2	日	
3	月	歯磨き週間始 安全指導1~4・6年 社会科見学5年 クラブ活動4・6年
4	火	安全指導5年 放課後学習教室
5	水	B時程5時間授業(全)14時一斉下校 動物教室2年 ランチルーム給食5年
6	木	校外学習3年 避難訓練
7	金	歯磨き週間終 ギネスに挑戦 茶道体験5年 放課後ゼミ5・6年
8	土	
9	日	
10	月	なかよし班活動 美しい日本語教室5・6年 クラブ活動
11	火	放課後学習教室
12	水	B時程
13	木	
14	金	ランチルーム給食6年 放課後ゼミ4年
15	土	
16	日	
17	月	クラブ活動
18	火	キャリア教育6年 ランチルーム給食4年 放課後学習教室
19	水	B時程 まなびの教室個人面談
20	木	
21	金	給食終
22	土	
23	日	【天皇誕生日】
24	月	【振替休業日】
25	火	終業式 B時程4時間授業(全)12時25分下校
26	水	冬季休業日始
平成31年1月		
7	月	冬季休業日終
8	火	始業式 B時程4時間授業(全)12時25分下校
9	水	B時程 安全指導 書き初め会 給食始

※(全)は全学年

みんなで作ろう!算数の「せ・か・い」

算数少数担当 坂井 直樹

算数「は・か・せ」という言葉をご存知でしょうか? これは、子供たちに算数で身に付けてほしい3つの力の頭文字をとったものだそうです。

「は」…はやく 「か」…かんたん 「せ」…せいかくに

しかし、算数にとって「は…はやく」は本当に重要な疑問が残ります。なぜなら、どんなに速さを頑張っても、電卓にかなうはずないからです。しかし、たとえ速くなかったとしても、正確な計算、正確な求め方・考え方は子供たちも追究できます。日頃の算数指導でも、「速さ」よりも「正確さ」を重視して指導しています。

そこで、本校の算数指導を通して、子供たちに身に付けさせたい3つの力を「は」「か」「せ」ではなく、「せ」「か」「い」と表現してみました。

「せ」…せいかく 「か」…かんたん 「い」…いつでも使える

日頃の算数授業で、「せ」いかに答えが出せることは、子供たちにとってももちろん大切です。しかし、答えを出すことだけに重点を置いた指導は行っておりません。答えのプロセスに至る考え方を大切にしています。たとえ答えに至らなくても、「ここまでは自分で考えられた」という思いを大切にしています。

なぜプロセスが大切か。みんなを出し合ったプロセスの中から、「いつでも使える考え方」を引き出させたいからです。算数は、低学年で学習した基礎・基本が、ずっと上の学年までつながる教科です。だからこそ、これから先いつでも使える考え方を引き出させたい、そしていつか1人でも多く、算数の「せ」「か」「い」を愉しめる子供たちが育っていく、そんな授業を子供と作ってまいりたいと思います。